

20歳にお勧めする

八王子の八冊

2024

20歳になられた皆さんおめでとうございます!

八王子で未来を描く人、八王子の思い出を胸に旅立つ人、八王子に未来を求め戻ってくる人、全ての皆様
が実りある人生を送ることができるよう、これから切り
拓いていく人生の様々な節目や場面で、応援し力を与
えてくれる八冊の本を紹介します。

令和6年「二十歳を祝う会」
実行委員会の皆さん



が選ぶ **2冊**

夜明けのすべて

著 瀬尾まいこ / 発行 水鈴社 など

1

他者に理解されづらい心身の問題を抱えた藤沢さんと山添君。ただの会社の同僚であった2人が小さなやさしさでお互いを助け合い、友達でも恋人でもない不思議な関係を築きます。

生きにくい問題を抱える中で、それでも生きる希望を失わないための物語です。

ぜひ、20歳となる皆様に読んでいただきたいです。



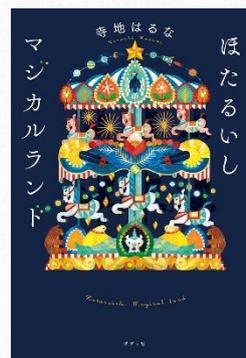
ほたるいしマジカルランド

著 寺地はるな / 発行 ポプラ社

2

自分たちが抱えてしまう不安や不満。一人一人の考えや性格が周りとずれているのではなく、それらは視点を変えることでそれぞれの強みにすることができる。そのようなことを様々な登場人物の思考をもとに読み感じることでできる作品です。

思考の似た登場人物に注目して読み進めるのもいいかもしれません。



本好きの市民の方※が選ぶ 2冊



「嫌われる勇気」

著 岸見一郎 古賀史健／発行 ダイアモンド社

3

人間関係が辛くなった時、自己肯定感が低い時、自分らしく生きるためのヒントが書かれている本だと思います。どうすれば人は幸せに生きることができるのか、悩み多き青年と哲学者 哲人との対話形式で読みやすい一冊です。



「20歳の自分に教えたいお金のきほん」

著 池上彰 「池上彰のニュースそうだったのか!!」スタッフ／発行 SBクリエイティブ

4

今、話題の経済の本です。私たちが若い頃は学校の授業でこのような経済について学ぶことはなく、社会に出ても多くの方は自分が生活する上で、必要な事とは思っていなかったのではないのでしょうか。それが今では必要不可欠な事になっています。20歳になったことをきっかけに経済を通じて、今の社会を考えてみてはどうでしょうか。いつもとは少し違った世界に見えるかもしれませんよ。



※図書館利用者の皆様からいただいた投稿を編集して掲載しています。

八王子の図書館員が選ぶ 4冊

「正解のない教室」

著 矢萩邦彦／発行 朝日新聞出版

5

正解のない時代を生きていく、20歳の若い人たちが知っておいて損はない教養が、わかりやすく書かれています。「自分で考える」とはどういうことかを改めて考えさせられます。



「持続可能な発展の話」

著 宮永健太郎／発行 岩波書店

6

“SDGs”などと耳にしますが、ちょっとしたエコを頑張るだけで環境や資源が守れると思いますか？

本書は環境にまつわる諸問題がどういう問題なのか、持続可能な発展とはなにかを環境と経済の視点から概説しています。



「ものがわかるということ」

著 養老孟司／発行 祥伝社

7

教わる時も教える時も、常に気になる「わかっているか。」

頭ではわかっているけど、行動に移せない。常にこつこつ考え、行動してきた養老先生ならではの語りかけるような文章が魅力的。

さくっと読めて、じっくり考えてしまう1冊です。



「いま生きているという冒険」

著 石川直樹／発行 新曜社

8

14歳で初めての一人旅を皮切りに世界中を旅してまわり、若干23歳で世界七大陸最高峰登頂を達成した冒険家であり、写真家の手記です。

非日常体験から得られる感動や学びがより自分を成長させてくれます。

